



工事概要

1. 工事名 : (仮称) 鬼怒川橋梁工事 (分割1号), (分割2号)
2. 路河川名 : 鬼怒川
関東平野を北から南へと流れ利根川に合流する一級河川
全長176.7kmで、利根川の支流の中で最も長い
3. 橋梁形式 : 9径間連続PC箱桁橋 **643m**
ニューマチックケーソン基礎 **8基**
4. 工期 : 2018年7月2日~2021年8月14日
※ 河川内の工事は、濁水期(11月~5月)に実施
5. 請負者 : 三井住友・渡辺・増淵・宇都宮土建JV
¥2,313,040,000-
オリエンタル白石・中村・野澤・小平JV
¥2,324,940,000-
6. 橋梁位置

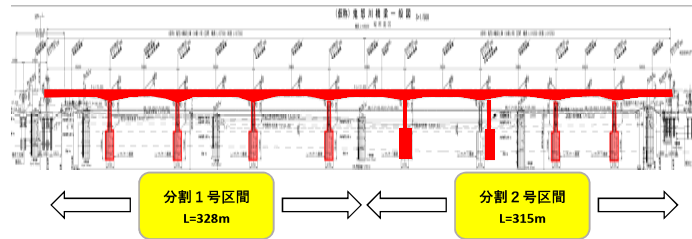


7. 整備経過

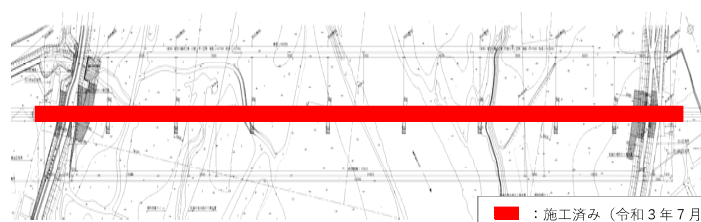
- | | |
|--------------------------|------------|
| 第1濁水期 (2018年11月~2019年5月) | 橋脚6基 |
| 第2濁水期 (2019年11月~2020年5月) | 橋脚2基 橋桁5径間 |
| 第3濁水期 (2020年11月~2021年8月) | 橋脚4径間 |

工事図面

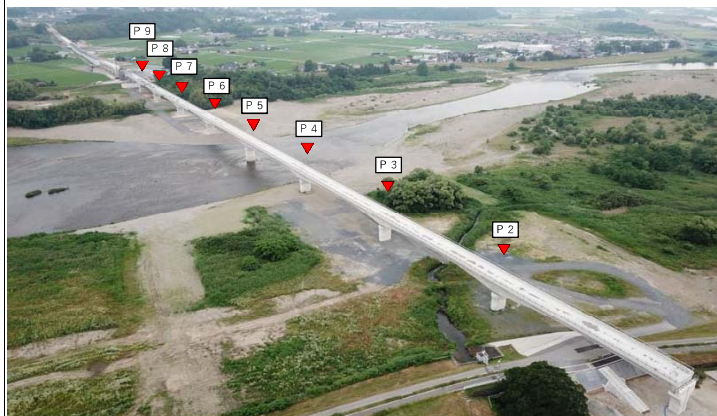
◆ 側面図



◆ 平面図



◆ 完成写真 (令和3年7月)



※ 上部工 (橋桁) の架設方法について
片持ち張り出し架設工法

移動作業車 (ワーゲン) を使い、橋脚から左右にバランスをとりながら1ブロックずつ橋桁を伸ばしていく工法。
2~5mを1ブロックとし、これを10日前後のサイクルで張り出していきます。桁下空間に左右されることなく架設できるため、鬼怒川橋梁のような河川内や山間部等に適した工法です。



※ ニューマチックケーソン工法について

ニューマチックケーソン工法 (Pneumatic caisson method) のpneumaticは「空気の」、caissonは「函(はこ)」を意味します。日本では「潜函」工法とも呼ばれています。
基礎下部に気密な作業室を設け、圧縮空気を送り込むことにより、地下水の侵入を防ぎ、掘削・沈下を行い所定の位置に構築物を設置する工法です。橋梁、建物の基礎として、また下水ポンプ場、地下調整池、トンネルの立坑などとして、幅広く活用されています。

